

お花見平和のつどい・2014 開催報告

日時：2014年4月5日（土）

会場：江東区夢の島 第五福竜丸展示館

参加人数：160名

主催：第五福竜丸から平和を発信する会 以下8団体

東京都地域婦人団体連盟、主婦連合会、東京都地域消費者団体連絡会、
第五福竜丸平和協会、一般社団法人東友会（東京都原爆被害者団体協議会）、
原水爆禁止東京協議会、日本青年団協議会、東京都生活協同組合連合会



開会挨拶
谷茂岡正子さん

今年もまた八重紅大島桜と第五福竜丸のエンジンのもと、お花見平和のつどいが開かれました。お天気にも恵まれ、多くの参加者が満開の桜を愛でながら平和を思うひとときを共にしました。

東友会・村田さんの司会で進行し、オープニングには「お花見平和合唱団」のみなさんのリードで「花」の合唱、東京地婦連の谷茂岡正子さんのごあいさつで開幕しました。午前の部は館内で『証言と映像でつづるビキニ被災から60年』と『生協のピースアクション』。午後の部はエンジン前で「ピースミュージック」と「明日への希望もとめて」、参加者からいただいた「メッセージカード」の紹介と「参加者へのインタビュー」を行いました。今年は第五福竜丸被爆から60年に当たる節目の年であり、集まった方たちが皆その月日をかみしめ、それぞれの活動を知り受け止め、平和への思いを共有できた満ち足りた一日となりました。

証言と映像でつづるビキニ被災から60年

第五福竜丸平和協会の安田和也さんより、第五福竜丸が被災した当時の様子が、その背景やその後の国内での動き、この水爆の時代が何をもちたらしその後の核廃絶運動へつながっていったかについて、映像とともに語られました。

ビキニ事件・第五福竜丸の教え！

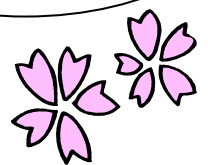
1. 原水爆の恐ろしさ、その破壊のすさまじさを世界の人々に伝えた。
2. 放射線被ばく、放射能による地球規模の汚染、環境破壊への警告となった。
3. 原水爆に反対する運動の日本国内・世界的な出発点となった。
4. 原爆被爆者の長い苦しみ、被爆の実相を大きく知らせる起点となった。
5. 繰り返される核実験への反対の声は核保有国にも影響を与えた。



浴びなくても良い放射線、残留放射能をそれでよしとするか、それを許さないとするか、私たちが決めていかななくてはならない。

We Love Peace 生協のピースアクション

「平和なくして生協なし」の思いを胸に活動している生協の平和活動報告がありました。



パルシステム東京

木村さん



平和カンパ、ヒロシマ・ナガサキ行動、憲法学習会・講演会、平和のつどいの取組みが報告されました。地域の活動委員さんからは各地域での平和活動の報告もありました。

東都生協

花沢さん



組合員と職員らが作った折り鶴で作成したタペストリーを、平和のつどいで展示、この場でも披露してくれました。こちらは広島、長崎の平和式典へ届けられます。

東京南部生協

石野さん



「平和とくらし委員会」より、ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ報告会の取組み、池上本門寺戦跡めぐり、日吉台地下壕見学会の様子が報告されました。遺された戦争遺跡から学ぶ大切さが伝えられました。

コープみらい

南さん



平和ガイドボランティア講座、「原爆と人間」パネルの贈呈と貸出、そして核兵器廃絶の取組みとしてヒロシマ、ナガサキ、オキナワ平和の旅の報告がありました。オキナワの旅では「戦争の恐ろしさ、悲しさ、愚かさに言葉を失った」との感想がありました。

ピースミュージック・お食事タイム

午後の部はピースミュージックで幕開け。今年は佐々木祐滋さんの弾き語りを楽しみました。佐々木さんは、広島原爆後白血病で亡くなった佐々木禎子さんの甥にあたり、禎子さんの思いをつなぐ活動を続けています。この場でも禎子さんのエピソードを紹介し、禎子さんが願った平和への思いを歌に託して届けてくれました。会場に響く佐々木さんの歌声に、参加者もあの日の広島へ思いを重ねました。佐々木さんはSADAKO LEGACYという法人で、音楽活動の他にも禎子さんの作った折り鶴を世界の紛争地に寄贈する活動も始めています。



あしたへの希望もとめて



原水爆禁止東京協議会
石村さん

署名活動とNPTに向けての取組みを一層すすめていきます。



主婦連合会 山根さん

平和憲法と戦争のない日本を守る活動をこれからも続けていきます。



東京都地域婦人団体連盟
大北さん

戦争のない国にするため、体験者の世代として思いをつないでいきたい。

東京都地域消費者
団体連絡会
寺田さん

原爆写真展を会場の関係で開催できなくて無念です。これからも原爆の悲惨さを伝え続けます。



一般社団法人東友会
家島さん

被爆者より二世の方が多くなった現在、被爆者援護法の制定を求める署名活動をさらにすすめていきたい。

日本青年団からは、被爆された方の証言を継承し戦争体験を後世に伝える運動に取り組んでいくというメッセージが寄せられました。

メッセージカードの紹介



参加者に受付で配ったカードにそれぞれの平和やこのつどいに託す思いなどを書いていただきました。東京地婦連の秋元さんと東京都生協連の中村がそのいくつかを紹介しました。

折り鶴コーナー



毎年このコーナーには多くの方が立ち寄り、願いをこめて鶴を折っていきます。この会場に来られなかった方たちからもたくさんの鶴が届きました。

インタビューコーナー



参加者に直接インタビューするこのコーナーでは、来場者の個々の平和活動や今日の感想など率直な声があがりました。



エンディング

折り鶴コーナー販売コーナーの報告と都地消費連の奥田明子さんの閉会のあいさつの後、佐々木祐滋さんの伴奏と東友会梅本さんの指揮でみんなで「青い空は」を歌って閉会しました。

